

平成22年度事業評価シート(ハード事業)

NO. 71

評価2 ハード

1 事業名等(Plan 1)

事業名	森林整備地域活動支援補助金										
所属名	農政部		林務課			林業振興グループ					
第七次総合計画	政策	4	「にぎわい」のあるまちをめざして			分野	3	林業			
予算科目	5	3	2	林業振興	費	53285	森林整備地域活動支援				事業
					費						事業
					費						事業
根拠条例・実施要綱・担当部門計画等	森林・林業基本法 第12条第2項、高山市林業振興事業補助金交付要綱										
事業の実施主体	市		市以外→森林組合・森林所有者・林業事業体								
事業の実施方法	直営		指定管理		業務委託		○ 団体等補助		その他→		

2 事業の目的・概要(Plan 2)

目的は対象(何を、誰を対象に)と意図(対象をどういう状態にしたいのか)を、概要は実施手法、手順等を記入

目的	誰のために(対象)	森林施策計画の作成者であり、市長との協定を締結している森林所有者、全市民	受益者数	— 人
目的	対象をどういう状態にしたいのか(意図)	森林の多面的機能が十分に発揮される適正な森林整備を推進する目的から、森林所有者等による森林施策の実施に不可欠な森林の現況調査、施策実施区域の明確化作業等の地域活動を支援する。		
概要	事業の実施手法、手順	森林整備に不可欠な地域活動(森林の現況調査、施策実施区域の明確化作業、歩道の整備等)を実施したものに、その積算基礎森林面積に応じて交付金を交付する。		
概要	事業始期・終期	始期: H13 年度から 終期: H23 年度まで 設定なし		
今年度の改善・改革ポイント	前年度の評価結果、指示事項等を踏まえ記入			

3 事業費の推移・結果(Do)

区分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	
総合計画計画額(当初)		122,000	122,000	103,700	100,000	100,000	
総合計画計画額(計画額)		108,420	103,820	103,700	100,000	100,000	
事業費	予算額	108,297	103,700	103,700			
	決算・見込	102,994	82,656				
財源	国庫支出金	予算額					
		決算・見込					
	県支出金	予算額	81,222	77,775	77,775		
		決算・見込	77,245	61,992			
	地方債	予算額					
		決算・見込					
	受益者負担	予算額					
		決算・見込					
	繰入	予算額					
		決算・見込					
一般財源	予算額	27,075	25,925	25,925			
	決算・見込	25,749	20,664				
H17国勢調査		96,231 人	32,174 世帯	※コスト→行政活動の単位当たり経費算出、変動を経年比較により、効率性評価			
コスト指標	受益者負担率(受益者負担/事業費) 単位 %	—	—				
	市民1人当たりコスト(事業費/H17人口) 単位 円/人	1,070	859				
	1世帯当たりコスト(事業費/H17世帯) 単位 円/世帯	3,201	2,569				
	受益者1人当たりコスト(事業費/指標) 単位 円/人						
	↓ その他(空欄にコスト指標名記入、事業費をベースとして単位当たりコストを算出)						
	協定締結面積 単位 円/ha	5,000	5,000	5,000	5,000		
	単位 円/人						

(成果面)

活動・成果指標	指標名	資料・出展算出式							単位	ha
		平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度		
活動指標	協定締結面積	—	—	20,740	20,000	20,000	20,000	20,000		
	目標値	—	—	20,740	20,000	20,000	20,000	20,000		
	実績値	21,667	20,616							↑
成果指標	達成率	—	—	0	0	0	0	0		
	目標値	—	—	0	0	0	0	0		
	実績値	1,650	1,421							↑
	達成率	—	—	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

3 事業費の推移・結果(Do)

前年度までの実績(累計)	対象・手段	事業費	599,320 千円
	事業費	(内容)	千円
	その他	千円	
	受益者負担	(内容) なし	千円
本年度	対象・手段	事業費	85,412 千円
	事業費	(内容)	千円
	その他	千円	
	受益者負担	(内容) なし	千円

(成果面)

項目	評価内容(算定式)		進捗率
	整備見込	整備目標	
本年度	16,082	20,000	80.41
本年度までの累計	93,678	122,540	76.4
事業の進捗率の考え方	累計 599,320	全計画額 682,305	87.8
進捗結果・理由	事業費、事業量ともほぼ計画どおり進捗		

4 分析・評価(Check)

①事業の目的評価(事業の目的・概要に対する妥当性から事業の必要性を評価)	判定	目的評価
(現状及び判定理由) 災害に強い森林づくりや地球規模での環境保全が期待される中、対象や意図が適正で今後も実施する必要性が高い。	A:非常に高い	A
②コスト面評価(事業の推移、コスト指標の結果からコスト面を評価)	項目	②コスト面
(判定理由) 県交付額の見直しなどによる減	減少 1	増加 維持 減少
③成果面評価(活動指標・成果指標から成果面を評価)	③成果面	コスト・成果ポジション
(判定理由) 地域活動が積極的に行われた結果、長期的には間伐実施面積が拡大している。しかし、H21年度は施策実施区域の明確化が困難な奥山森林が多く、間伐面積増とはいかなかったが、この事業の成果があり、これまでの間伐面積を維持できたものである。	拡大 維持 減少 1	G 第3水準

目的評価「A・B」かつコスト・成果「第1水準」	→ I 「良い」	良好な水準を維持
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第2水準」	→ II 「やや良い」	「I」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第3水準」	→ III 「普通」	「II」の水準に向けた改善が必要
目的評価「A・B」かつコスト・成果「第4水準」	→ IV 「やや良くない」	「III」の水準に向けた改善が必要
目的評価「C・D」もしくはコスト・成果「第5水準」	→ V 「良くない」	「IV」の水準に向けた改善もしくは事業の休止、廃止などの検討が必要

5 今後の方向性(Action)

評価結果に対する改善提案(下記チェック)	総合評価
計画どおり 実施 改善・継続 終期設定 休止 廃止 完了	コスト 中 成果 中 評価区分 III
今後も継続して実施する。	「II」以上の水準に向けた改善が必要
次年度実施方針	森林の現況調査や施策実施区域の明確化は、森林の適正な管理を進めるうえで必要不可欠である。今後も県に対し必要な財源を確保するよう強く要望するなど、継続して実施できるよう努める必要がある。